

《短報》

## 名蔵アンパル上流で確認されたインドクジャクの白化個体

後藤益滋

株式会社リクチコンサルタント 〒753-0031 山口県山口市古熊1-6-4

沖縄県の先島諸島では、インドクジャク *Pavo cristatus* Linnaeus, 1758 が 1970 年代後半に新城島へ導入され、その後、周辺の島々でも飼育されるようになった。台風などで飼育施設より逃げ出した個体が繁殖し、農作物や希少野生動物への被害が深刻となったため、生態系被害防止外来種に指定され、継続的な駆除が進められている（環境省，2013）。

筆者は、名蔵アンパル上流に位置する名蔵ダム付近（沖縄県石垣市登野城 24°24'33.64"N, 124°11'5.09"E）で 2023 年 12 月 17 日に偶然確認した本種 5 個体のうち、白化（アルビノ）個体を 1 個体確認した（図 1）。本種の白化個体は、個人写真愛好家の間ではその存在が知られていたが、明確な記録はなかったことから、当報告にてその記録を残しておくこととした。



図1. 名蔵アンパル上流で確認されたインドクジャクの白化個体

### 引用文献

環境省（2013）沖縄諸島の外来種，インドクジャク．